

発生箇所	③コンクリート版表面
分類	材料・施工
参考箇所	4-8-3 セットフォーム工法(13)表面仕上げ
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工後、コンクリート舗装上を乗用車が時速 50km 程度で走行したところ、異音が発生した。 ・平坦性等の出来高管理基準は満足していたが、路面を詳しく調査したところ、約 1m 間隔で、規則的に中央部の高さが 2mm 程度凹んだ波状になっていた。 	
<p>●原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅 1m のフロートを使用しコンクリート版の表面を仕上げていたが、フロートが下に凸に 2mm 程度歪んでいた。 ・フロートの幅に合わせて 1m 程度の間隔で規則的に表面仕上げをしていたため、等間隔で路面に微小な凹みが生じ、走行時に異音が生じた。 	
<p>●発生防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用するフロートは、作業前に歪みがないか確認をする。 ・ほうき目による粗面仕上げを行う際も、使用前にほうきに歪みがないか確認すると良い。 	
<p>●発生した場合の対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装の供用性を損なう不具合ではないことから補修は必要ないが、変状が進行しないか経過観察を行う。 	

